

防衛大臣

一 川 保 夫 様

ストップ!ヤマサクラ61 (日米共同軍事演習) 大集会実行委員会  
事務局長 吉尾 明美

### 中部方面隊における日米共同方面隊指揮所演習に関する申し入れ (請願)

すでに自衛隊陸上幕僚監部広報室から明らかにされていた、来年1月から2月にかけて予定されている中部方面隊における日米共同方面隊指揮所演習の内容が、情報ネットワーク「APAN」で公表されました。それによると、中国を想起させる「ハンナン人民共和国」と北朝鮮を想起させる「バルヘ」の連合軍が日本に侵略し、侵攻阻止の防御戦闘を実施する陸上自衛隊中部方面隊を、米太平洋陸軍 (ハワイ) と第一軍団前方司令部 (キャンプ座間) 指揮下の米軍地上部隊が支援し、「侵略軍」を打破する内容です。

しかし、日本政府が「防衛計画の大綱」(2010年12月閣議決定)で「本格的な侵略事態が生起する可能性は低い」と述べているとおり、非現実的なシナリオです。実際、北朝鮮をめぐる6カ国協議の再開をめざす動きも始まっています。

今回の演習に関しては、米軍が演習の目的をアジア・太平洋地域の即応態勢強化と位置づけているとおり、アメリカが行なう戦争に日本を参加させるためのものです。

一方、世界の流れは、紛争の解決は「戦争」ではなく「話し合いによる平和的解決」の方向へと大きく変化し、紛争の平和的解決を進める東南アジア友好協力条約は、日本をはじめ54カ国・地域に広がり、世界人口の7割が参加する巨大な潮流となっています。このような中での「侵略」を想定した演習はやめるべきです。

よって、下記の点を申し入れ (請願) するものです。

### 記

1. 2012年1月から2月に予定されている、中部方面隊における日米共同方面隊指揮所演習 (ヤマサクラ61) を中止すること。
2. 伊丹駐屯地において、「日米地位協定第2条4項b」に基づく日米共同使用とされている土地・建物の返還を求めること。
3. 中部方面隊における日米共同方面隊指揮所演習 (ヤマサクラ61) に関するあらゆる情報をただちに開示すること。

以上